

地域おこし協力隊 事業報告書

美作市役所企画情報課

令和2年3月27日

目次

卒業する隊員(4名)

- ・村田 和則（勝田観光振興会） 1



- ・諸橋 弘樹（現代玩具博物館・オルゴール夢館） 11



- ・三宅 康太（上山地区自治振興協議会） 16



- ・中野 祐一（福山地区自治振興協議会） 26



1年目の隊員(6名)

- ・河原田 高雄(粟井地区自治振興協議会) 40



- ・江口 直輝(美作市役所社会教育課) 44



- ・岡野 紘子(上山地区自治振興協議会) 53



- ・赤坂 晃靖(上山地区自治振興協議会) 55



- ・ 蟻正 敏雅（上山地区自治振興協議会） 64



- ・ 中島 純一（美作市役所都市住宅課） 71



私の地域おこし活動

平成29年度
美作市地域おこし協力隊

1

村田 和則

2

私の履歴書

年齢	こんな事、してきました
38歳～46歳	『広報東京』『週刊都庁』編集発行 臨海副都心開発計画主査
48歳	知事本局 人事係長
49歳	(伊豆)大島支庁 総務課長
49歳～	市長会事務局次長、共済組合財務課長、 人権部同和啓発・企画課長、 財務局検収統括課長
60歳～65歳	(株)日本宝くじシステム システム主幹
66歳～69歳	美作市地域おこし協力隊

3

その他にこんなことも…。



▲ イベント企画



▲ ポスターデザイン

4

残りの人生 残りの人生目標

- 具体的に人の役に立つこと。
- いい人になりたい。
- シンプルに生活したい。
- 自然と暮らしたい。
- 安全に生活したい。



岡山県美作市

私のミッション

勝田観光振興会事務局として活動し、観光振興に寄与すること。

- 観光イベントの企画・実施
- 観光拠点・地域拠点の開発

そして、

※梶並地区活性化推進委員会事務長

平成30年度より、やまゆり苑指定管理者となったため、施設管理事務業務も行っている。

観光イベントの企画・実施

梶の葉の七夕まつり (2017・18年・19年)

美作市梶並は香美の郷と呼ばれていた。この郷が梶並と呼ばれるようになって1200年。それは時の仁明天皇にこの郷の者が梶の葉を七枚並べ七夕まつりの御料として献上したことに由来している。(『梶並神社史』より)

こうした故事や歴史的な縁を大切にし、地域外の人たちに広く知ってもらおうとともに、誇りをもって地域活動を行い地域の活性化につなげることを目的に…



新規事業(梶の葉の七夕まつり)

7

2017年

梶の葉の七夕祭り DE ナイト

ト

時は平安。京の都では七夕祭りに梶の葉に願いを書く風習がありました。しかし、梶の葉は稀少のため手に入れることができず、かわりに梶で書いた紙や梶の葉を象(かたど)った紙を使って祭りを楽しんだといわれています。美作の国産紙は、梶の葉を並べ都に献上したことから、仁明天皇がその地名『梶並』を付けたといわれています。

こうした古話(いにしえばなし)と縁(えにし)を帯び、梶の葉を短冊にした『梶の葉の七夕祭り』を開催いたします。

梶の葉の七夕祭り期間(29年8月3日~7日)

2019年

梶の葉の七夕まつり #3

防災と地域の絆

令和元年8月4日(日)
午後5時00分~
やまゆり苑
(美作市梶並70番)

企画趣意：昨年7月西日本豪雨により、美山県内の多くの方々が被災されました。山や川と共に暮らす私たちのため、いつかこうした事態に見舞われるか、予断を許さず、あの日から1年という時を経て、美作市が七夕まつりでは、自然災害に感謝するとともに、自然災害と地域の絆について考える機会にしたいと考えています。

イベント内容：
〔自然災害の認識〕→山川のライブマップ、梶の葉の短冊への記録
〔自然災害〕→映画上映、調理・配合(試食)日本食防災食料記ビデオの放映、意見交換

〔その他〕→グルメの出店予定 主催：勝田観光協会、美作市観光文化推進委員会

新規事業 (レンタサイクル& 勝田いいところ発見隊)

8

2018年

平成30年10月~

8時間走って
500円

1日使っても
1000円

美作・勝田の風を感じて
身も心もリフレッシュ!

レンタ・サイクル
(電動アシスト付自転車)

勝田観光協会では、レンタサイクルの利用による勝田観光圏への効果について検討することを主目的に、3台(2台電動アシスト、2台通常アシスト)の電動アシスト付自転車もレンタサイクルとして貸し出すことといたしました。この事業を通じて、ご利用者の皆様、地域の皆さんとご交流する機会と、お気づきの点ご意見を頂戴できれば幸いです。よろしくお願いいたします。

勝田観光協会
レンタサイクル管理係
(美作市佐州武蔵)
美作市大町6-7-8 勝田
0868-77-0330

●貸し出しの場所、よけは立ち寄り
●車では、美作市にない風景に出会え
●高を乗り越え、スピードも楽しませ
●健康増進に、アシスト付で楽がい

2019年

美作市
勝田

勝田いいところ発見隊

見かけましたらご協力をお願いします。

発見の任務：
① 美作市勝田地区のいいところ、新たな目で発見すること
② 発見したいいところ、本部に報告し SNS などで発信すること

活動予定日：令和元年7月6日(土) 午前9時~午後3時
(出 発 式：同日 午前9時 美作市佐州武蔵入口正面)
<<小規模旅行>>

主催：勝田観光協会
後援：美作市、美作市観光協会

新規事業（木地師まつり）



木地師まつり (18.11.25)



第2回木地師まつり(19.10.13)

新規事業（久賀の桜まつり）

2018年～



新規事業（さをり織り展）

山村茶屋での企画展として

2018年～



観光拠点・地域拠点の開発

山村茶屋の整備：

人々が集い・楽しむことができる拠点

(2017年6月から居住しながら、リノベーションを開始)

- ギャラリースペースの整備（屋内を中心に）
- コミュニケーションスペースの整備（屋内・屋外）

集・楽の実現

13

手作りで山村茶屋を改修

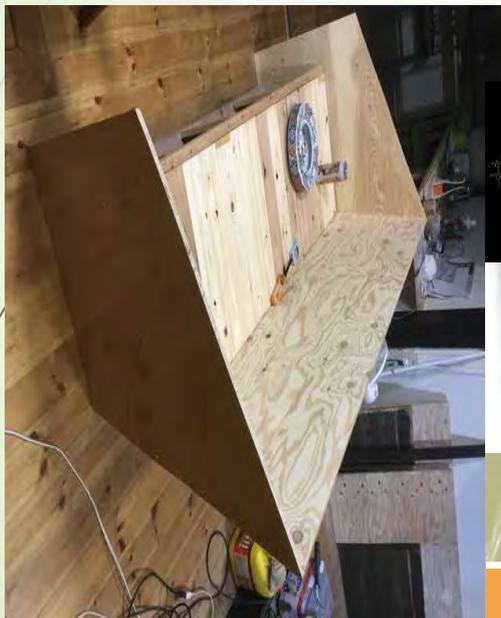


駐車場の整備・案内看板の製作



14

手作りで山村茶屋を改修



天井、壁をはじめ、家具・
駐車場などを製作、整備

ギャラリー **山村茶屋** <プレオープン>
勝田観光振興会

聖徳絵画の揭示式

- ・演奏会
- ・ギャラリーの活用提案
- ・山村茶屋の今後の提案
- ・懇親(パーティー)

美作市の最北部 梶並地区にある「山村茶屋」は、この地区のランドマークといわれながら、倒壊の危懼がありました。美作市や地域の皆さんの協力と応援によって改修を進め、ここにプレ・オープンすることになりました。人々が集いそして楽しめる小さな拠点となりますよう、皆様と一緒に育てていきたいと思います。是非ご来観ください、ご意見をお聞かせください。お待ちしております。

2018 5月3日 木 13~16時

飲物 無料券

〒707-0206 岡山県美作市東谷下302-1
Tel 090 (9 8 3 3) 9337 村田

▲オリジナル長椅子の製作

▲プレオープンチラシ

15

ギャラリー山村茶屋プレオープン



『集』の場づくり 2018年5月～ 陶器・絵画・さをり織りの展示販売

16

山村茶屋の活用



◀ 集会場としての活用 (30.5.3～)

▼ 来場者の利便のため釜めし販売
(2018.5.29～)



17

コミュニケーションスペース

廃屋の撤去

サンクンガーデンの整備

エクステリアの整備



地域や訪れる人たちの

交流の場



『楽』の場づくり



18

只今、進行中・・・

▼ガーデン造成



勝田観光振興会（ギャラリー 山村茶屋）

住所：美作市東谷下302-1

営業時間

10:00-16:00

定休日

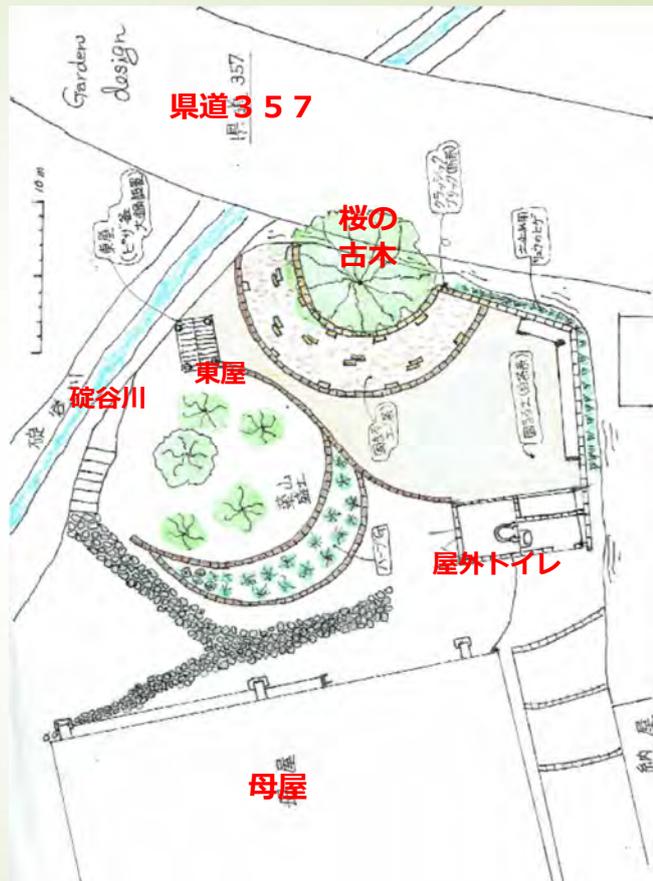
火、水、木、金曜日（定休日においても一部サービス利用可）

その他サービス

- サイクルスタンドの設置
- 県内や地域の観光情報などを提供
- ソフトドリンク各種200円提供
- 釜めし割引（1000円⇒800円）

19

Garden - design



今後の目標 そして・・・

20

地域拠点の完成 (ギャラリー山村茶屋)



地域活動の継続

(地域活性化支援オフィス?)



勝田観光振興会
梶並地区活性化推進委員会

地域おこし協力隊としての3年間の活動報告

諸橋 弘樹

期間 : 2017年4月1日 ~ 2020年3月31日

配属先 : 現代玩具博物館・オルゴール夢館(湯郷地域)

概 略

湯郷地域にある現代玩具博物館・オルゴール夢館に着任し活動を進めてきました。

活動は大きく分けて、現代玩具博物館においての本館業務、2号館においての糸のこ教室の運営、私自身の木工作業です。あわせて各地のイベントにも参加をしてきました。

本館業務

本館での活動は3年間の活動の中で時間的に最もウエイトの高かった業務でした。

これまでの人生の中で目にしたことのない、または気に留めてこなかったオルゴールやヨーロッパの木のおもちゃがとても新鮮でした。

オルゴールのコンサートでは、150年以上も前に作られたアンティークオルゴールをはじめ、貴重なアンティークオルゴールの音色をお客様とともに聞くことができました。

全国的に見ても、これほど毎日オルゴールの音色に耳を傾けるとい仕事はあまりないのではないのでしょうか。

また、各地で開催されるイベントにも博物館のスタッフとして参加をすることができました。

出張イベントでの一番人気は3000個の積み木で遊ぶというものです。

これは直方体の積み木をとにかくひたすら高く積んでいくという単純な遊びなのですが、子どもたちは一生懸命集中して積んでいます。

テレビゲームなどのデジタル全盛のこの時代に、単純でアナログなこの遊びに熱中する子どもたちを見ていて、ある種の感銘を受けました。

アンティークオルゴールや木のおもちゃを通して感じたことは、古いものを懐かしむという懐古趣味だけでなく、時間の経過に耐えてきた力強さや単純であるが故の力強さ、バーチャルではなくて目の前にもものとして実際に存在するという力強さです。

アンティークオルゴールの演奏会の司会やおもちゃツアーでのパフォーマンスなどを通して、たくさんのお客様とふれあうことができました。



2号館業務

糸のご教室を中心に活動を行ないました。

糸のご教室では常連のお客様を中心にほぼ毎週開催されました。

和気あいあいとした雰囲気の中にも真剣に糸のこに向き合うお客様の姿がありました。

お孫さんや子どもさん、友人への贈り物として作られたり、ご自身の技術向上のために作られたりと目的は様々ですが、皆さん真剣に取り組まれています。

そのように真剣に取り組まれているお客様の手助けやアドバイスをすることが私の主な仕事でした。

お客様の創作意欲にこたえられるよう私自身も真剣に取り組みました。

そうした取り組みの成果かわかりませんが、この3年間の間に少しずつではありますが、お客さまも増えてきました。

お客様が知り合いの方を連れてきてくださることもあり、大変ありがたいことでありました。

さて、糸のご教室では、小黑三郎さんの組木を中心に製作することができます。

特に小黑さんのお雛様はここ数年大変人気があり、正規品は1年以上の予約待ちをしなければならないほどです。

お雛様以外には、五月人形、干支の動物、組木のパズルなどを作ることができます。

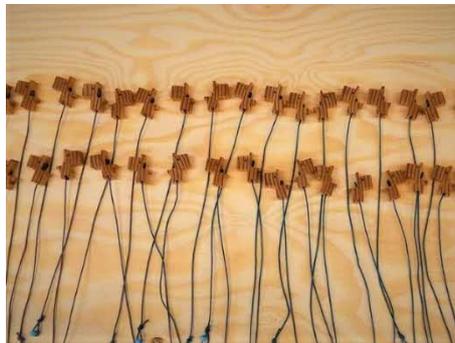
オリジナルのものを作ることもできます。

私はお客様が作ったお雛様などの組木を収納する木箱や段飾りの段などかなりの数を製作しました。

真剣に作られた組木を収納するのでできるだけ見栄えのするものを作りたいと務めてきました。

箱に収まった組木を見て微笑まれるお客さまの姿に充実感を覚えました。

また、出張工作体験に使う材料の製作や子ども用の工作キットの製作、博物館オリジナルのノベルティグッズの製作なども行ないました。



木工活動

木工を協力隊退任後の生業とするということを目標に活動を行なってきました。

現在、満足できるところまではきていませんが、徐々に目標に近づいているという実感です。

木工について3年間は振り返りますと、まだまだ頑張れたのではないかという思いと、時間がない中でそれなりのことができたのではないかという思いが半々というところです。

時間がないというのは実際深刻なことで、本館業務との兼ね合いで、週1日から2日という制約の中で、製作から販売までをこなすのはかなり大変でした。

しかし、時間が少ないなかでも、2号館で創作活動を行なえたことはとてもよかったと思っています。

オルゴールとおもちゃ、糸のこ、といった他にはない独特の雰囲気の中で創作できたことは、いろいろな刺激やヒントをもらうことになりました。

最終的に形にできなかったものもありますが、いろいろなものを吸収して、感じて、考えて、それを創作活動につなげることができたと思います。

クラフトフェアや手づくり市にも最終年度にいくつか参加をすることができました。

作ったものをお客様に直接見ていただくという機会は大変貴重で参考になり、また、反応が芳しくないときにはいろいろと考えさせられるものでした。

お客様の反応でいろいろなものを試作してみる、それをまたお客様に見ていただく、そしてまた新しい試作をしてみる、ということの繰り返しで、少しずつ成長できたのではないかと考えています。

現在、桜や栗の木を使い、カトラリーやパン皿などの食器を中心に製作をしています。

まだ道半ばというところでありますので、引き続き創作活動と展示販売を行なっていきたいと思っています。



まとめ

～ 応募から退任まで ～

2016年9月に名古屋市で開かれた岡山の定住移住イベントで美作市の地域おこし協力隊を知りました。

東日本大震災の影響から移住をしたいという妻の希望があり、イベントに参加をしました。

大して期待もしないまま美作市の職員の方からいただいた協力隊の募集要項を見ていたところ、「木工作業員」の文字が目にとまりました。

趣味で行っていた木工を仕事にできるという当時の私にとっては夢のような話でした。

詳細を聴きたいと思い、一月後に東京で開催された定住移住イベントに行き、具体的なお話を美作市の方から伺いました。

その気があるのなら、あなたの思いを書いて応募してみてください、というアドバイスをいただきました。

家族での移住に不安がなかったわけではありませんでしたが、2016年の末に応募をしました。

2017年3月末に無事に引っ越しを終え、美作市での生活がスタートしました。

配属先の現代玩具博物館・オルゴール夢館での仕事は初めてのことばかりで大変なこともありましたが、温かく迎えていただきました。

オルゴールのコンサートの司会やおもちゃツアーのパフォーマンスはまったくの未経験で緊張しましたが、お客様に喜んでいただけて拍手をもらうことができ、うれしさと安堵の気持ちでいっぱいになりました。

周りのスタッフに支えていただきながらの毎日で、少しずつ前に進むことができました。

糸のこ教室でも、お客様に温かく迎えていただきました。

お客様の要望に応えるのに精いっぱい、はじめはとにかくがむしゃらにやったという感じです。

糸のこ教室では常連のお客様が大半なので、より濃密な関係が生まれました。

お客様にいいものを作って喜んでいただきたいという気持ちで、アドバイスをしたり、収納箱を製作したりしました。

和気あいあいの雰囲気の中で、また行きたいと思っただけの教室を作ることができたのでは、と少し達成感を感じております。

ただ、難点がまったくなかったわけではなく、肝心の木工作業の時間がほぼないという日々が半年近く続きました。

同期の協力隊員の中川さんとどうしたものかと話していましたが、市の担当者に相談をしたところ、少しずつではありますが、改善することができました。

退任後に木工を生業として定住したいという目標からするとまだまだ時間は足りないということが正直な気持ちです。

また、地域ではなく、施設に配属されているので、勤務シフトで日程が決まってしまう。

協力隊として、博物館外の活動を行ないたい場合も、日程に制限があるので、なかなか館外活動は難しいものがありました。

最後に、協力隊として現代玩具博物館および美作市に来てよかったかと問われれば、100パーセントよかったと答えたいと思います。

美作市での生活はこれからも続きますので、引き続き自己研鑽に励みたいと思います。

地域おこし協力隊事業報告

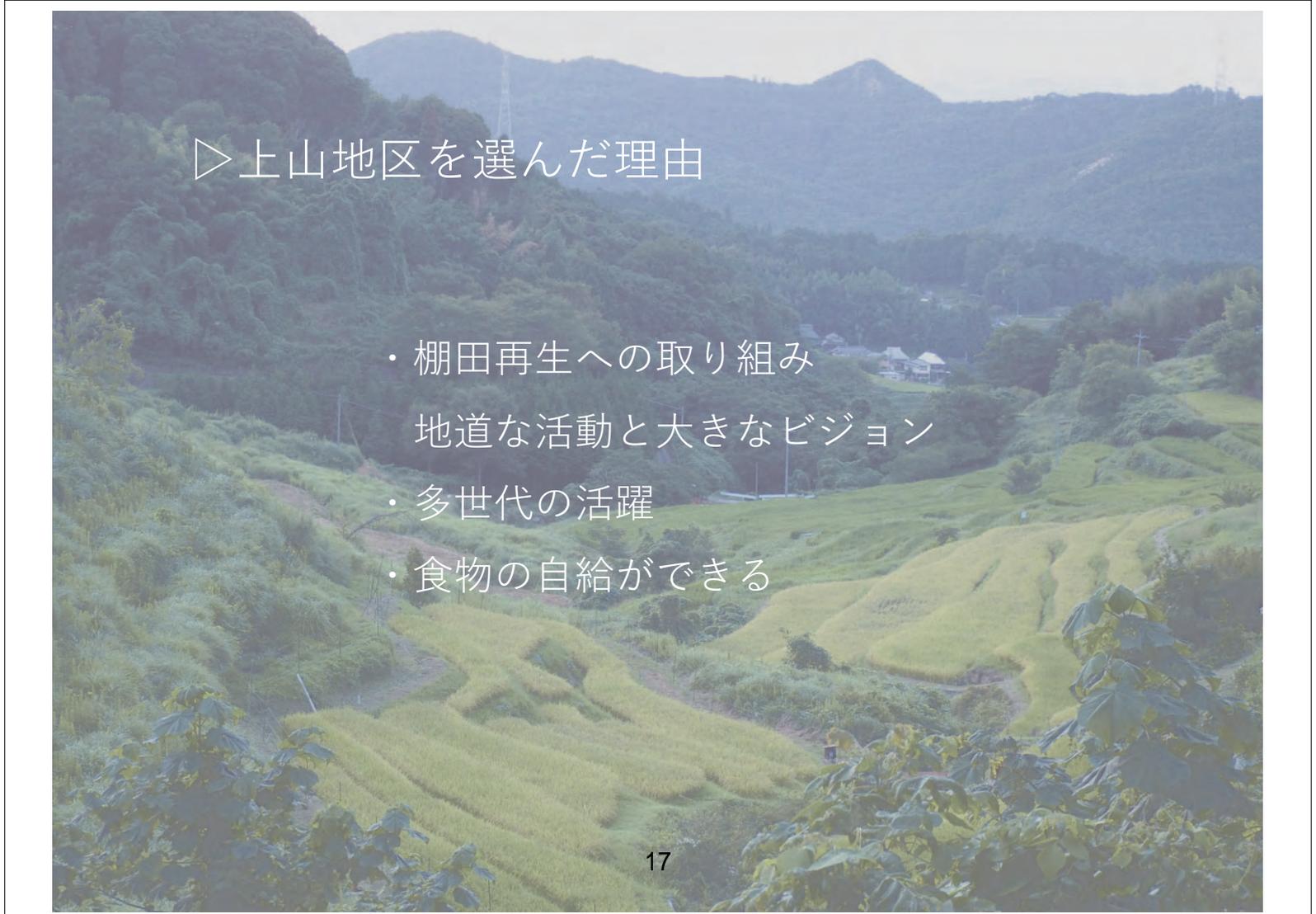
上山地区 三宅康太

- ▷上山地区について
- ▷上山地区を選んだ理由
- ▷協力隊としての活動
- ▷成果
- ▷今後の予定



▷上山地区について

- ・面積約1000ha(農地100ha 林地900ha)
- ・奈良時代からの歴史
- ・人口160約人(最盛期は800-1000人)
- ・8300枚の棚田
圃場整備ほとんどなし
- ・周辺は薪炭林(マツ・ナラ)



▷上山地区を選んだ理由

- ・棚田再生への取り組み
地道な活動と大きなビジョン
- ・多世代の活躍
- ・食物の自給ができる

▷協力隊としての活動

- ・ 棚田再生
- ・ 大芦高原キャンプ場の再建
- ・ 地域文化の継承
- ・ 地域の特性を活かしたイベントの実施
- ・ 高校地域コーディネーター
- ・ 上山地区のPR



棚田再生

上山地区で共に棚田再生活動を行う“認定NPO法人英田上山棚田団”のメンバー。

上山地区に来てから初めて農業に携わりました。わからないことだらけで大変なことも多かったのですが、心強く愉快的仲間たちのおかげで楽しく活動することができました。



上山地区の他の協力隊メンバーと共に田植えイベントを行った時の様子です。

小さな子どもも大人も一緒になって田植えを楽しんでもらったり、みんなでお昼を食べながら棚田再生の取り組みについて話をしたりしました。イベントをきっかけに、活動について知ってもらえるいい機会となりました。



大芦高原キャンプ場

英田町時代から存在し、人気スポットだったキャンプ場ですが、一時期閉鎖していました。2017年からは上山集楽が指定管理者として新たにスタート。

美作市内外のいろんな方々にも協力していただきながら、また新たに人気の場所へと復活してきました。



キャンプ場としての営業だけではなく、イベント時にはヨガや音楽、飲食や体験ワークショップなどを楽しんでいただきました。

時には関西や関東、九州などからもお客さまに遊びに来ていただくこともありました。



こちらはゴールデンレトリバーの飼い主の方々がオフ会を楽しんでいる様子です。

近年、集まれる場所が減ってきたという相談をいただいてから定期的にご利用いただくようになりました。

こういった楽しみかたも新たなキャンプ場の使い方と言えます。



地域文化の継承

こちらは上山地区の夏祭りの様子です。協力隊のOBの方々が当時復活させて依頼、毎年開催しています。

地域の方々と一緒にお祭りを開催し、地域外の方々とも一緒にお祭りを楽しむということは立派な地域おこしのひとつと知りました。



地域の役職として、上山神社の「宮総代」も2年間務めました。

参拝する側だけでなく、その場を整える側となることで季節ごとの行事の意味について深く知ることができたように思います。



上山地区の秋祭りでは獅子舞を舞います。こちらも2年間、獅子舞役を務めました。

秋祭りまでの何週間か、日中の仕事を終えてからみな集まり練習を重ねます。1年目も準備をして本番を迎えましたが、地元の方から指導をいただき...

それも2年目には改善することができ、本番を終えた後には「立派なもんじゃ」と声をかけていただくことができました。これも今ではいい思い出です。



こちらは上山地区の日の出祭りの様子です。日の出祭りもいつしかなくなってしまった行事のひとつ。それをこの度、大芦高原キャンプ場の再建と共に復活させることができました。

今年2020年はキャンプ場へ宿泊された方も多く、年々たくさんの方が日の出祭りに足を運んでいただけるようになりました。



高校地域コーディネーター

2019年度からは高校地域コーディネーターとしての活動も新たに始めました。主に探求授業や地域学を学校の先生方と一緒に計画段階から考え、生徒たちが地域に出て学ぶサポートをします。

まだ始まったばかりの取り組みですが、多くの方のご協力のもと進めることができています。



同様に高校生たちの活動の幅も広がっています。こちらは岡山大学にて行われた協働フォーラムの様子です。高校生たちが各自の取り組みについて発表を行います。まだ活動中の高校もあり、この場に出た意見をもとに更に活動を深めていきます。

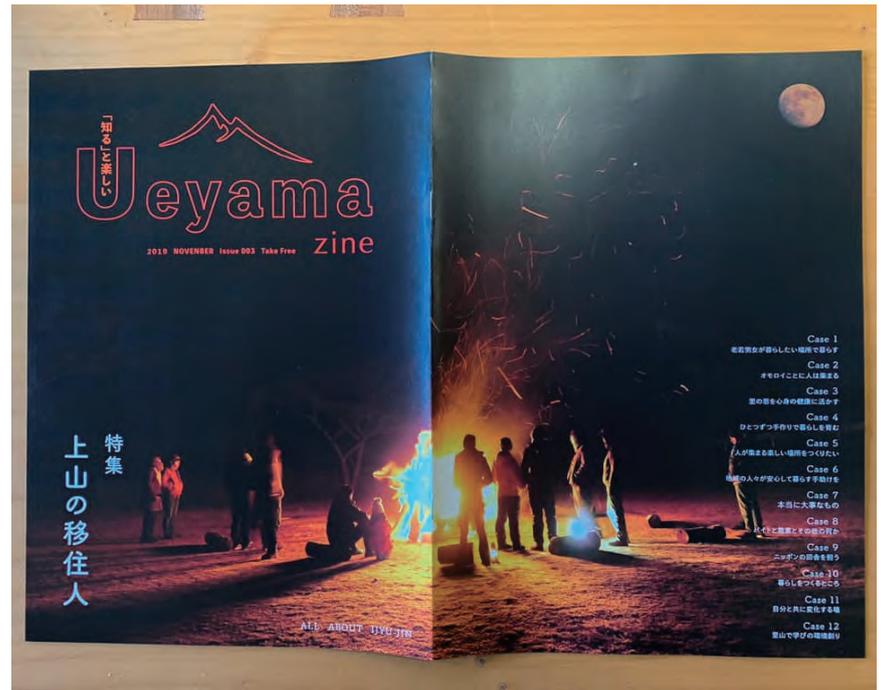
このような場があることで、生徒たちの主体性が磨かれていきます。



上山地区の PR

こちらは上山地区の特徴についてまとめた冊子です。1年ごとに1冊、それぞれテーマを考えながら作りました。

この冊子はイベントで配布したり、活動に賛同していただいた方々に配布したりしていますが、いずれも楽しく読んでいただいているようです。



▷成果

- ・ のべ訪問者数約9000人以上
- ・ 耕作放棄地の開墾
- ・ 大芦高原キャンプ場での雇用の創出
- ・ 地域の文化財の修繕

など



▷今後の予定

- ・ 棚田再生活動をより一層
- ・ キャンプ場をさらに名所に
- ・ 高校地域コーディネーター
- ・ 新ブランドの設立

地域おこし協力隊 (卒業) 活動報告

令和2年3月
福山地区協力隊 中野祐一

1

感謝をこめて

2

平成29年4月

協力隊に応募する時は
その地区が必要としている
条件から外れていた地区

3

平成29年4月

予想もしていなかった
予備知識もなかった
その地区の紹介を受けて

4

平成29年4月

福山地区へ着任

5

平成29年4月

何からやればよいのか
検討もつかない
そこで先ず始めた事

6

福山地区の地図を作り、自己紹介シートを持って



7

地図を持ち、自転車で、地域を回り話を聞く



8

地域・団体の総会や会議、行事・活動にも
参加させてもらう



9

そこで気付いた事

「なんとかしたい」という
想いを持つ人が

たくさんいる

10

それが、その後の
私の活動に繋がりました

11

私の活動

地域の想いを、
地域の実力で実現していく

その一員としての活動

12

私の活動

形としては
残っていないものも
ありますが

13

地域の想いを地域の実力で実現するその一員として



地域の想いを地域の実力で実現するその一員として



地域の想いを地域の実力で実現するその一員として



16

地域の想いを地域の実力で実現するその一員として



17



18

地域の想いを地域の実現するその一員として



19

地域の想いを地域の実現するその一員として



20

地域の想いを地域の実現するその一員として



21

決して
これらの活動だけの
成果ではありませんが

22

地域の方々
福山に来てくださった方達
子どもから
高齢者の方まで

23

たくさんの方が
利用して下さり
たくさんの交流が
生まれました

一部を紹介します²⁴



25



27





美作市内のサロン活動、
高齢者大学等の
交流の場にも

全ての紹介はできませんが⁴³







55



56



57



58

他にも生まれた 交流の場

一部を紹介



地域との交流
ヨガ体験教室

60



地域との交流
林野高校吹奏楽部
ミニコンサート

61



地域の方の知識・技術を活かして
つぎ木教室

62

皆さま

ありがとうございます

63

もう一つ
「見たよ」「見たから」と
地域内外の繋がりづくり
安心を与えて
交流のきっかけを
作ってくださった

64



65

みまちゃんネルの
皆さま

ありがとうございます

66

地域の想いを
地域の実力で実現する

その一員として
活動出来たのは

67

ひとつには

色々な会議に
出席させていただけた事

68



69



70



71



72

一員として活動出来たのは

様々な行事、活動に
関わらせていただいた事

73

一員として活動出来たのは

また、それらを
情報発信して
人や、地域をつなぐ
ひとつのきっかけに
させていただいたこと

74



75



76



77



78



79



80



81



82



83



84



85



86



87



88



89



90

一員として活動出来たのは
一員として
受け入れてくださり、
いつでも
声掛けして下さった
地域の皆さん

91

一員として活動出来たのは
かわら版などの取材にも
快く応じて下さった
地域の皆さん

全員をここで紹介できませんが



93



94



95



97



98



99



100



101



102



103



104



105

一員として活動出来たのは

さくとう山の学校で
一緒に活動して下さった
皆さん

全員をここで紹介できませんが

106



107

一員として活動出来たのは

身近で、
山の学校以外の事も
教えてくれて
意見・アイデアも
相談にもものってもらえた

108

一員として活動出来たのは

さくとう山の学校

事務局の皆さん

109



一員として活動出来たのは

辛い時期もありましたが
優しく声を掛けてくれた
誰にでも優しい
世話好きのお二人

111



一員として活動出来たのは

この方との
出会いがなければ、
実現出来なかったかも
知れません

113

一員として活動出来たのは

どんな時でも
決して否定せず
後押しして下さった方

114



115

一員として活動出来たのは

公私を問わず
暖かく接していただき
活動を理解して下さった
地域の皆さま

116

ありがとうございます

117

充実した3年間

心より感謝申し上げます

118

今後も、想いをかなえる
地域の一員として
どうぞよろしく
お願い致します

119



120

2019年度 事業報告書(初年度)

令和2年3月吉日
粟井地区地域おこし協力隊
河原田 高雄

活動の目的

- 将来の生業づくりのため、自分のやりたい事を見つけ準備する
- 地域とのコミュニケーションを深め応援してもらえ関係性を作る

生業づくりのための活動



生業を考えるセミナー(東京)



農村観光先進地視察(長崎)

■活動の狙い

- ・成功事例や失敗事例を学び、自分の活動のヒントを得る
- ・全国にネットワーク、仲間を作る

■成果

- ・やりたいこと、地域のための視点と損益の視点を入れないと継続できないことを理解した
- ・ネットワークが広がり、仲間・相談先ができた

■今後の課題

- ・自分のやりたいことと地域の課題解決の接点を作る

3

生業づくりのための活動



餅加工(粟井小学校)



味噌仕込み(粟井小学校)

■活動の狙い

- ・地域の加工技術を学び身につける
- ・製造工程など暗黙知を文書化し、伝承できるようにする

■成果

- ・経験者の監督のもと製造できるようになった
- ・製造工程を文書化できた

■今後の課題

- ・物販だけでなく、体験教室など利益を出せる仕組みを考える

4

地域との交流を深める活動



とんど祭り(粟井小学校)



グラウンドゴルフ(粟井小学校)

■活動の狙い

- ・地域に溶け込み、顔と名前を覚えてもらう
- ・地域の課題を知り、自分の相談事を聞いてもらえる関係を作る

■成果と反省

- ・地域活動に参加し、少しずつ関係づくりができてきた
- ・地域を理解するまでに時間がかかり最初は孤立してしまった

■今後の課題

- ・さらに多くの人と接点を持ち、喜んでもらえる活動をしていきたい

5

生業と地域交流その中間の活動



岡山観光PR(大阪)



職員室カフェ(粟井小学校)

■活動の狙い

- ・地域の強みを理解し、ビジネス感覚を磨く
- ・地域の方との接点を広げる
- ・地域外のシェアハウスメンバーとも交流し、関係人口を増やす

■成果と反省

- ・地域を売り込む、店を運営する感覚がわかった
- ・新規のお客様がなかなか増えなかった(Café)

42

6

今後やりたいこと

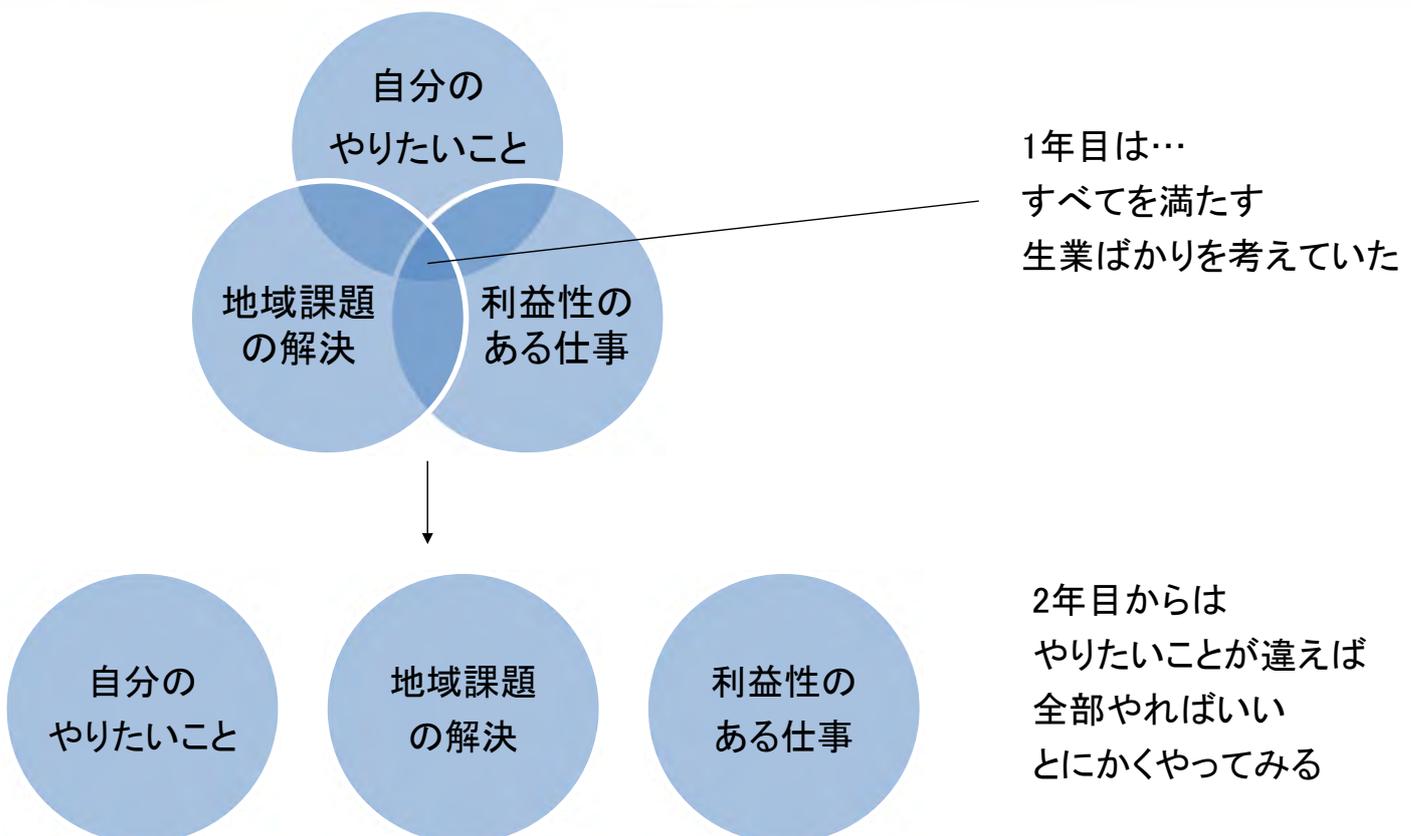
- 地域の特産品を一緒に作る
- 廃校の利活用
- 販売を生業にする
- 地域への貢献
- 海外展開したい



粟井産もち米でつくったきねつき餅

7

2年目以降の活動方針



年間報告

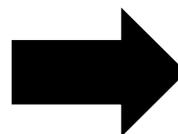


地域おこし協力隊
江口 直輝

1

○石造物調査 ・資料調査

以下の資料から石造物の情報をエクセルに入力
 『美作町史 絵図・文化財編』
 『東粟倉村の文化財』
 『勝田町の文化財』
 『勝田町誌』
 『英田町の文化財』
 『英田町の地区誌』
 『大原町の文化財（1）』
 『大原町の文化財（2）』
 『大原町史 地区誌編』
 『作東の石造物』



美作 179件
 東粟倉 93件
 勝田 32件
 英田 143件
 大原 147件
 作東 283件
 計877件

名称	解説	寸法	種別	時代	和暦	西暦	所在地	銘文	座標
入田の道標(2)	銘文正面「右 津山道 左 たん生寺道」左「大坂講中」。もとは入田えびす橋のもとにあり、津山・誕生寺道の石標であった。美作歴史資料館敷地内に有り。	102.cm	道標	不詳			美作市林野	右 津山道 左 たん生寺道	35.0130 134.1457
後藤勝基の墓碑	「天正七年己卯歳 〇〇院殿〇〇利求大居士 五月初二日」天正七年(1579年)は三皇城落城の年で、最後の城主後藤勝基は、時に42歳で自刃したと伝えられる。五輪塔は後年建立される。『岡山金石史 続』に掲載。「津山平田屋類中(人名記入あり)」	180.cm	五輪塔	江戸時代	宝暦四年	1754年	美作市明見		35.0173 134.1509

エクセルデータ一部抜粋

2

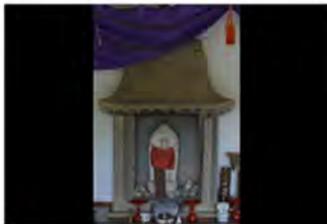
- ・現地調査 主に測量、座標確認、写真撮影を行う。現在約160件。



県指定 沢田の宝篋印塔(大原) 市指定 岩田家の石灯笼 (美作) 市指定 釈迦如来像 (英田)

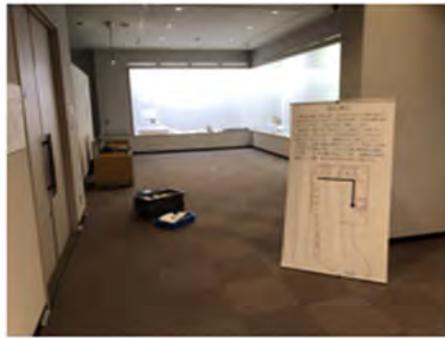
3

調査した石造物を総務省の「ふるさとづくり推進ポータルサイト」に掲載。現在石造物や考古資料など204件掲載(2020年3月末閉鎖)

<p>No.109</p> <p>春日神社の灯笼(1)</p> <p>写真</p>  <p>建造物</p> <p>岡山県_美作市</p>	<p>No.110</p> <p>観音寺の一石五輪塔</p> <p>写真</p>  <p>建造物</p> <p>岡山県_美作市</p>	<p>No.111</p> <p>沢田の宝篋印塔</p> <p>写真</p>  <p>建造物</p> <p>岡山県_美作市</p>	<p>No.112</p> <p>上相の石室</p> <p>写真</p>  <p>建造物</p> <p>岡山県_美作市</p>
--	--	---	--

4

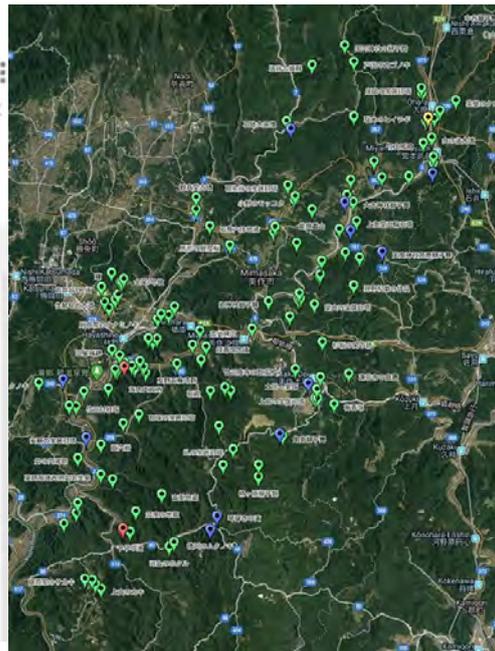
・8月 「争乱からヤマト王権へ」 作東美術館で開催



美作市内の弥生時代後期から古墳時代にかけての出土物を展示。期間中258名来館。

展示風景

・美作市指定文化財マップ作成 グーグルマイマップ使用



グーグルマイマップにて国登録・市指定・県指定・国指定文化財の位置と概要を掲載。現在約800回表示されている。写真も掲載できるので今後も撮影したのから掲載していく予定。

・ Facebook、Twitterでの広報活動



Facebookやtwitterで活動を広報予定。
現状あまり広報活動ができていないため今後積極的に行う予定。

7

・ 11月 文化財講座(美作地区)「昔くらしきの代官と高瀬舟」

美作市文化財講座
「昔くらしきの代官と高瀬舟」

●日時 令和元年 11月9日(土)
午後1時30分～午後3時30分

●場所 湯郷地域交流センター

●内容 吉野川の高瀬舟
美作市文化財保護委員 橋本 雅光氏
上州沼田藩の海内代官について
美作市文化財保護委員 石原 美樹氏

●入場 無料

美作の逸品
美作市地域おこし協力隊 江口直輝氏

中央民衆館において美作地域出土遺物を公開
展示期間：令和元年11月9日(土)～11月10日(日)
美11月10日(日)は湯郷地域交流センターで展覧

美作市文化財保護委員会
Tel 0864 72 2900 Fax 0864 72 4646

美作の逸品について

地域おこし協力隊 江口直輝



※発表内容一部

11月9日に湯郷交流センターで開催。「美作の逸品」と題して野寺山古墳の陶棺や平福の銅印について紹介した。約100名の受講者の内約40名が新規の参加であった。

8

・1月 武蔵資料館展示替え



11月ごろから資料整理やキャプションづくりを始め、12月には林原美術館の学芸員から刀手入れの方法を学んだ。1月14日から23日にかけて展示替えを行った。

9

・2月 文化財講座(作東地区)「旧出雲街道と日指の長城寺」開催



当日の様子

2月8日に作東バレンタインプラザで作東地域についての文化財講座を行う。約100名の方が受講者の内約40名が新規の参加であった。

10

廃寺で知る 古代の作東寺院 地域おこし協力隊 江口直輝

図 白鳳寺院関連遺跡『美作の白鳳寺院』津山郷土博物館 1992年



- 美作市内白鳳寺院
 - ・確定
大海廃寺・檜原廃寺・長大寺(今岡廃寺)
 - ・可能性が高い
江見廃寺、土居廃寺
 - ・可能性がある
竹田廃寺
- 白鳳寺院の集中
 - ・西側は国分寺や国府など美作国の中心地であったことが理由に考えられる。
 - ・東側の美作市内特に作東地域に白鳳寺院が集中していることには疑問
→一地域に4つの廃寺があったことは美作国でも特異なこと。

※発表内容一部

「廃寺で知る 古代の作東寺院」と題して作東地区に所在する大海廃寺、江見廃寺、土居廃寺、竹田廃寺といった白鳳寺院について紹介した。

・2月 英田資料館台帳作成

英田資料館の活用を考え、収蔵品の台帳作成と記録写真の撮影を行った。結果341件の資料を確認した。今後収蔵品を活用できる方法を考える予定。



資料撮影例

台帳番号	資料番号	名称	かな	員数	種別	年代	寄贈者	解説
1 69	773	甲冑	かっちゅう	1	武具			三保神社神宮 磯山出雲が神威隊に加わり京都御所護衛のため上京するときに着用したもの。
170		日本刀太刀	にほんとうたち	1	武具	現代	清家止彦	神田に鍛刀場を開き、刀匠として日本古来の鍛法・作刀技術を研究し作刀に専念される。
171		日本刀脇差	にほんとうわきざし	1	武具	現代	清家止彦	神田に鍛刀場を開き、刀匠として日本古来の鍛法・作刀技術を研究し作刀に専念される。
172	641	搦め手	からめて	1	武具			人の衣服などをからめて攻撃を防ぐ槍
173		火縄銃	ひなわじゅう	2	武具			
174	654	胴乱	どうらん	1	武具			鉄砲の火薬や弾や火薬をおしこむ棒をいれる道具
175		弾づくり具	たまづくりぐ	1	武具			その他収蔵物
176	636	手鏡	てかがみ	1				民具 嫁入り道具の一つであった。
177	770	盃	さかずき	1				民具 領主沼田藩土岐山城守より拝領したもの。

台帳一部抜粋

○研修等(文化財の保存に関することや、来年度美作市でできる体験講座を考えるためのもの)

11月 勾玉づくり 東大阪市埋蔵文化財センター



滑石



砥草

滑石を石で砕いて、砥草を乾燥させたもので研ぐという昔ながらの方法で作成していた。

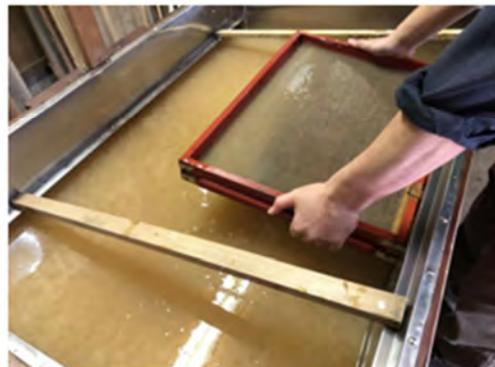
13

12月 紙漉き体験
上田手漉和紙工場
(津山市)



紙の制作方法の最後の工程のみ体験したが、そこに至るまでの複数の工程についても学ぶことができた。

上田手漉和紙工場でも美作市右手から原料となる木を取り寄せている。



14

12月 歴史的資源を活用した観光まちづくり

④活用計画

活用イメージ①

宿泊体験
本陣で江戸時代の大名の宿を体験。
江戸時代の暮らし体験



本陣



平尾家



長野県小諸宿本陣を宿泊施設

活用イメージ②

飲食施設の誘致
大原の地酒などの魅力を伝える。
脇本陣の活用



脇本陣

活用イメージ③

サムライ体験
・宮本は武蔵生誕の地ともされる。
・資料館や剣道の体験などから日本の侍文化を伝える。

岡山県美作市



活用計画プレゼン発表
パワポ

歴史的資源の活用方法について学び、最後に参加者が発表するという研修であった。今回は古町と宮本武蔵の活用イメージを発表した。

15

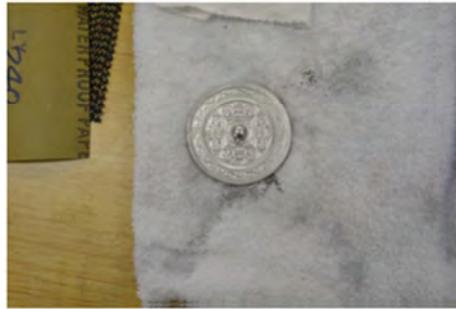
1月26日 林原美術館 御刀手入れ講習



武蔵資料館の展示にあたって刀の手入れ講習を受講した。打ち粉が刀に良くないなどあまり知ることができないことを学べた。
※講習中の写真を撮っていなかったため美作市での刀手入れ風景を使用

16

2月 備前市埋蔵文化財管理センター 鏡づくり



備前市の丸山古墳から出土した銅鏡をかたどったシリコン製の型に鉛を流し込んで作成する。その後やすりなどで磨けば顔が反射するようになった。

17

今後の予定

- ・ 来年度は小中学生など子どもを対象とした体験講座を行いたい。今現在は体験型としては勾玉を考えている。
- ・ 英田資料館の収蔵品を地元の小中学生が触れるようなイベントをしたいと考えている。
- ・ 引き続き石造物などの文化財の資料調査を行う。

18

R1 活動報告

美作市上山地区地域おこし協力隊 岡野紘子

H31年度の地域おこし協力隊としてH31.4～上山地区で活動を開始し始め、この一年間の活動報告をさせていただきます。

活動を大きく3つの項目に分け、それぞれ報告すると同時に今後の展望を述べさせていただきたいと思いません。

①放棄地再生

上山地区の協力隊のミッションとして放棄地となった棚田を再生する、再生した棚田を活用・維持していくということがあります。

1年間で行った活動としては

- ・野焼き(耕作できる土地にするまでに笹や竹を刈って燃やし、根を弱らせる)
- ・草刈り(協力隊OBの方が既に笹・竹藪を切り開いた箇所管理。一部梅畑になっている)
- ・お米づくり(草刈り、水路掃除、田起こし、代掻き、田植え、除草・水管理、稲刈り、粃摺り)

田植え、稲刈りはWSとして開催し、県内・県外から15名弱参加

- ・畑作り(放棄地となった場所を畑にするべく開墾)

これからの社会の動向や健康に関することを考慮し、固定種の野菜を無農薬で栽培する予定。

- ・新たな放棄地再生

放棄されてしばらく経つ笹藪を11月から刈り始め、野焼き等管理を続けるとともに耕作やそれ以外での活用方法を検討。

②資源の活用、文化の継続

現在上山(中山間地)で活用できる資源を発見し活用したり、徐々に途絶えていきそうな手仕事を継続していくことで、里山での暮らし方や不安定とも思える今後の経済や社会の中での生き方の提案を行っている。

- ・畑づくり(地元の方の利用できなくなっている箇所をお借りして豆作り)
- ・肥料作り(粃殻くん炭、落ち葉・枯れ草堆肥)
- ・味噌作り
- ・きのこ栽培 など、

消費するばかりでなく、自身で生産し循環していくような暮らし方を地元の方から教わったりしながら習得し、伝えている。

③薬草

里山には沢山の野草が自生している。野草の中には生薬(漢方薬)として扱われる植物もたくさんあり、その薬草を世に広めるための活動を行っている。

- ・薬草茶づくり

15種類程度の薬草茶を販売できるように採取。主には自生しているものだが、桑はOBである松原さんが棚田を開墾し桑畑として活用。

来年度からは栽培にも取り組む予定。

- ・食べる薬草

野草はお茶とするだけでなく、野菜と同じように料理して食べることができる。

そのことを知っていただき、自身でも活用してもらえるようにSNSで食べ方等の投稿やイベントに

薬草料理を出店。

また手軽に食べれたり摂取できるような薬草の商品化への試作も行っている。

・講座

薬草について知ってもらい、自身で見分けることができるようになるための講座を OB の松原さん主体で開催。

また福山地区でのサロン等で薬草のお話会も開催。

④地域活性化

上山を活性化するためにイベント等を開催したり、県内外のイベントに参加。

・上山内でのイベント

過去 OB・OG の方が復活、継続させている夏祭り、収穫祭、日の出祭り。

・上山神社の東屋改修

床が腐っている箇所が多く改修を行い、今後は地域の方と一緒に青空市等を検討している。

・マガジン作成

年に一度上山集楽のマガジンを発刊しており、今回は移住者に重点を置いて作成。

各イベントや視察の際などに配布している。

・美作のイベント

英田ふるさと祭りや盆梅展に参加。

・県外でのイベント

岡山、東京での上山集楽としての参加

横浜・名古屋での地域おこし協力隊としての参加

以上が1年間での活動報告になります。

最後までご高覧いただきありがとうございます。



水路掃除



再生した棚田で田植え



田植えイベント



東京で行われた
エコプロに参加。
上山集楽の PR や
棚田米等販売



福山地区のサロンにて
薬草についてのお話会



30年以上放棄された棚田を草刈り、
野焼き

令和元年度 活動報告

上山集楽 赤坂晃靖

2 活動実績

4月

草刈り

5~10月

米作りと
棚田の整備

11~3月

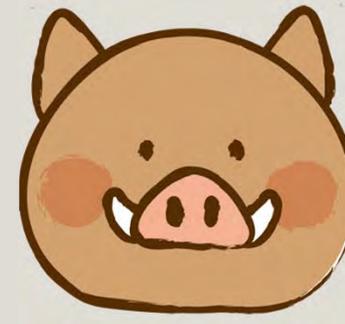
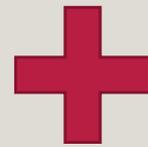
狩猟

3

鹿及び猪の狩猟頭数



成獣 **7** 頭
幼獣 **1** 頭



成獣 **2** 頭
幼獣 **2** 頭

合計 **12** 頭

活動の様子(捕獲から調理まで)

5

捕獲



6

止めさし と 解体



※止めさしとは
くくりわなや囲いわな
で捕獲された野生動物
のとどめをさすこと

7

精肉 と 調理



一年を振り返って

相田再生・維持・管理, 狩猟の全ての1つ1つの作業の大変さが身にしみる1年でした。しかし, 結果として相田の風景, お米, 肉, 鹿皮を生み出すという達成感を味わうことが出来た1年でもあります。特に相田に関しては, 「風景を作っている」ということに大きな魅力を感じました。

狩猟を通じて, 山から肉を得るという経験をしました。自らの働きが直接的に食べ物を得ることになっている実感は人を強くしてくれるのではないかと感じています。

9

来年度の方針

① 棚田の維持再生

② 有害鳥獣駆除班への加入

③ 猟銃資格の所持

美作市地域おこし協力隊一年生

蟻正敏雅

【令和元年度活動報告書】

2020.03.19.

【令和元年度 / 主な活動（抜粋）】

（主な個人活動）



蓼藍栽培

- ・ 葉草の普及、認知のため
染めと葉草のセットで提案

■ 蓼藍種まき (4/29)



マガリストア × 暮らしの葉草

- ・ 営業日外を有効活用

■ いちよう庵をまがり (5/31)

2019

4月

5月

6月

お米作り 4/29~

（主な全体活動）

■ 種籾準備（塩水選、消毒）



■ 苗箱作り（播種）



■ 苗箱作り（散水）



■ 畦塗り

■ 代掻き



■ 田植え



■ 除草



スタッフ衣装製作

- ・衣装を統一し、イベントの精度向上

■ ガーリックナイト (7/13)



蓼藍体験, 藍ランチ

■ 蓼藍体験 (8/31)



柿渋作り

- ・放置された柿の手入れ、資源の有効活用

■ 青柿収穫 (9/12)



炭染め

- ・放棄地から切り出された資源の有効活用

■ 炭染め実験

7月

8月

9月

お米作り

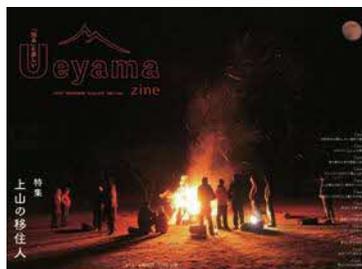
■ 除草、水路管理





藍染 / 炭染製品

■ 製品作製 (10/11)



UEYAMA ZINE 製作

・ 移住者の多様性

■ 上山集染 PR



東京米友達 (トーキョーマイフレンズ)

・ 都会との関係をつなぐ

■ お米普及活動 (11/4)



高見味噌店 (美作市)

・ 地元企業さんとの協業

■ 棚田米製品 (11/11)

10月

11月

12月

お米作り

■ 稲刈り、ハゼ干し



■ 脱穀



■ 袋詰め (ライスセンター)



耕作放棄地の再生

■ 草刈り



【令和元年度 / 主な活動（抜粋）】



Tsunag. 鹿革製品デザイン

- ・ 鹿革製品の認知と活動の PR

■ 鹿革製品展示会 (1/25-26)



炭焼き

- ・ 技術の継承と、資源の活用

■ 文化継承、染料作り



大芦高原キャンプ場

- ・ 生きるを考える

■ アウトドアでのモノ、コト作り



UEYAMA IPPIN

- ・ 移住者の生業確立と、地元民の生産物の販売

■ 地域工芸品、特産物のブランド化

2020

1月

2月

3月

耕作放棄地の再生

■ 草刈り



■ 野焼き



【地域の中にある多様な資源や課題】

鹿革

商品製作

薬草

認知と普及

柿

管理と活用

炭

活用と販売

体験

体験の
必要性

物産

認知と普及

一年を通して見えてきた今後の活動内容

「人」と「物」の間を考えて、「物」と「人」をつなぐデザイン

「人」と「事」の間を考えて、「事」と「人」をつなぐデザイン



地域が持っている多様な財産、

地域が抱えている多様な課題。

それらを解放しながら

心地よい生業創りや生活環境創りを創造していく。

美作市地域おこし協力隊 2019年度事業報告

都市住宅課「美しい里山公園」担当
中島 純一

公園整備に関すること

- 広場整備（ウッドチップ敷設）
 - 藤乃森広場
 - 塩野尾山頂広場
- 見晴らしスポット洗い出し
 - 平福日の出スポット他
- 新規園路開通
 - 平福-檜原上園路
 - 四ノ谷-北原園路



朽木藤乃森広場



塩野尾山頂広場



平福園路から望む令和2年の初日の出

公園内調査に関すること

- 入園者データ集計
 - 公園入り口センサーカメラの画像データ整理
 - 2018年度は140人、2019年度（2月まで）は188人来場（栄町集計）

- 動物調査

- センサーカメラによる撮影
- パトロール時のセンサス調査
- 里山公園生き物図鑑作成

（ブログにて連載中、公式HPにも掲載予定）



ニホンアナグマ



ニホンカナヘビ

公園管理に関すること

- パトロール
 - 崩落箇所や倒木の発見・報告
 - 仮設トイレの管理
 - ヘビやハチの注意看板設置
- 園路維持のための軽作業
 - 小規模な倒木の撤去
 - 側溝清掃



ヤマカガシ



へび注意看板



オオスズメバチの巣

公園活用に関すること

- スラックライン
 - 木と木の上にラインを張ってその上でバランスをとるスポーツ
 - 元世界チャンピオン大杉徹氏の元で体験、設置技術の習得
 - 安全マット自作
 - 藤乃森広場でイベント開催
- モルック
 - フィンランド発祥のボウリングに似たゲーム
 - 公園内の間伐材を活用して道具作製
 - 藤乃森広場でイベント開催
 - 地元のご高齢の方々に大好評
- 資格取得
 - NACS-J自然観察指導員
 - ネイチャーゲームリーダー
 - 自然観察会、ネイチャーゲーム体験会開催に向けて



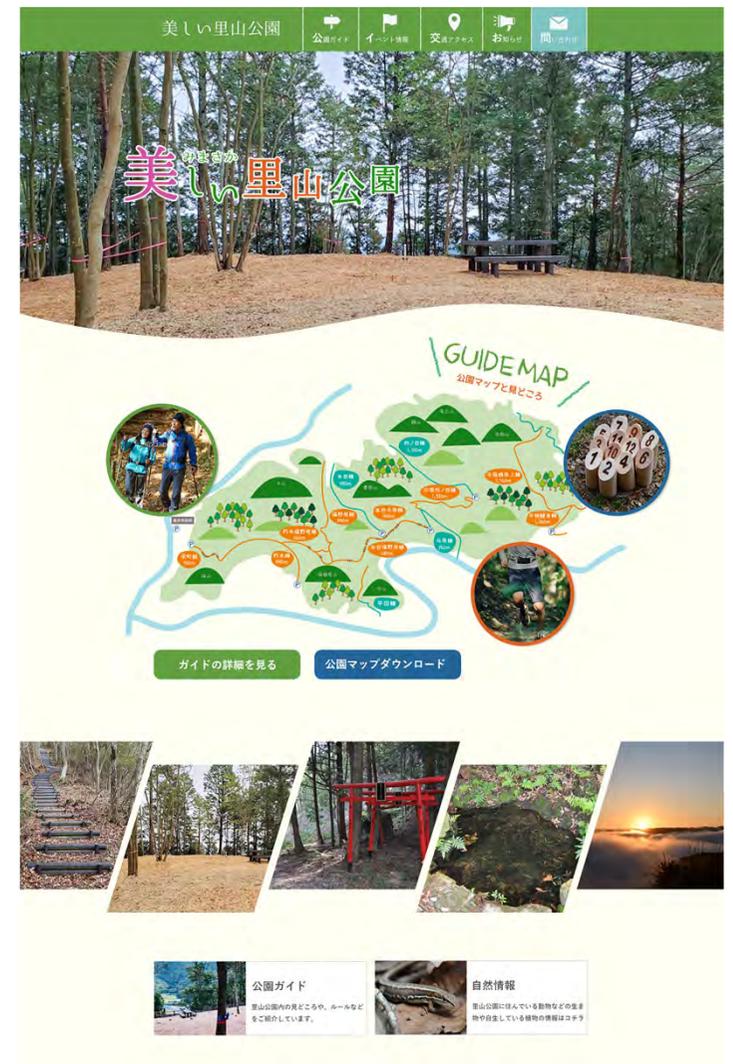
藤乃森広場でのスラックライン



里山の間伐材を利用して作製したモルック用具

情報発信に関すること

- 公園パンフレット作製
- 公式ホームページ開設
- 協力隊員ブログ運営



美しい里山公園公式ホームページ

定住に向けた活動

- 創業支援セミナー参加
 - 里山公園等での自然体験、アウトドア体験の拠点となるカフェ
 - アウトドア関連インストラクターとしての活動
 - 美作地方の淡水魚を水槽にて展示
 - 創業計画書作成
- 狩猟（銃猟）
 - 猟銃所持許可取得のための初心者講習受講
 - 講習終了証明書取得

来年度の予定事業

- 情報発信の継続
- 植物、史跡の調査
 - 他の協力隊員（野草は岡野さん、文化財は江口くん）とコラボ？
- 各種イベントの開催（社会教育課と連携）
 - モルック、スラックライン
 - 自然観察会、ネイチャーゲーム
 - 間伐材や木の実などを使った工作体験（オルゴール館との連携）
 - 里山図書館&カフェ
- 市民団体「美しい里山公園友の会（仮称）」設立
 - 市民が里山に主体的に関わっていくシステム
 - 高齢世代から若者世代への里山文化、技術の継承